

西暦 年 月 日

山形大学医学部附属病院にて診療を受けている、受けたことのある方、ご家族の方、ご親戚等の方へ（研究に関する情報）

当院では、下記の研究を実施しております。この研究は、通常の診療または過去に実施した研究で得られた試料や情報（以下、「臨床情報」という。）を用いて行います。

この掲示によるお知らせの後、臨床情報の使用を許可しない旨の、ご連絡がない場合においては、研究へのご理解をいただいたものとして実施します。

なお、個人が特定できる情報は研究には利用しません。また、研究データ上にも残りませんので、研究の実施により、あなた、またはあなたのご家族・ご親族等の個人情報が流出することはないと考えております。

また、研究の成果を公表するときにおいても個人情報を提示することはありません。

皆様方におかれましては、研究の趣旨をご理解いただき、ご協力を賜りますようお願い申し上げます。

この研究に関するお問い合わせなどがありましたら、問い合わせ先まで、ご連絡ください。

①研究課題名	IMRT による胸壁照射時の呼吸性移動を考慮した治療計画手法の検討
②倫理審査委員会承認番号	
③研究期間	研究実施許可日から西暦 2024 年 3 月 31 日まで
④研究の目的	近年がん治療である放射線治療において強度変調放射線治療という新たな治療法が全国的に広く普及しております。強度変調放射線治療は様々な部位の放射線治療で利用され、胸部も適応部位の代表的な 1 つです。胸部照射では呼吸により、胸部が動くことに注意して治療を行う必要があります。しかし、こういった方法でこの呼吸による移動を治療時に考慮すべきかという標準的な指標は現在まで確定できておりません。よって、本研究では様々な呼吸による移動を考慮する方法を比較検討することで、最も効果的な方法を確定することを目的として実施します。
⑤この研究の対象となる方	2020 年 4 月 1 日から 2022 年 7 月 31 日までに本院に来院し乳がん全摘手術後の放射線治療を受けた方
⑥研究の方法	この研究では乳がんを患い、乳房を摘出した手術を行った後に放射線治療を実施した患者様を対象とします。放射線治療を実施した際に撮影を行った CT 画像を利用します。

	この CT 画像を用いて作成する治療の設計図である治療計画を様々な呼吸性移動を考慮した方法で作成し、比較することで最も効果的な方法を確立します。
⑥利用する情報	放射線治療時に撮影した CT 画像
⑦他機関への臨床情報の提供	本研究の実施にあたり、他の研究機関に臨床情報が送付されることはありません。
⑧臨床情報の管理責任者	管理責任者氏名：宮坂友侑也
⑨臨床情報を利用する者	研究責任者氏名：岩井岳夫 主任研究者氏名：宮坂友侑也 分担研究者氏名：小野拓也、柴宏博、李聖賢、想田光、佐藤啓、赤松妃呂子
⑩臨床情報の利用停止について	いつでも、この研究にあなた自身の臨床情報を使用しないよう求めることができます。臨床情報の使用を認めなかったとしても、あなたに不利益が生じることはありません。申し出をされる場合は本人又は代理人の方より、下記の連絡先までお問い合わせください。 ただし、使用停止を求めた時点で、研究結果が論文などで公開されていた場合には、完全に臨床情報の使用を停止できないことがあります。
⑪問い合わせ先	山形大学大学院医学系研究科重粒子線医学講座 〒990-9585 山形県山形市飯田西 2-2-2 TEL：023-628-5404 Fax： E-mail：yuya.aoba@gmail.com 担当者氏名：宮坂友侑也

以上